



教員名：  
横山 天心  
Tenshin Yokoyama

専門分野：  
建築意匠



作品名 : トシノカイドン  
 構造種別 : 構造種別 木造一部 RC 造  
 階数 : 階数 半地下 + 2 階  
 敷地面積 : 敷地面積 60.0m<sup>2</sup>  
 建築面積 : 建築面積 35.9m<sup>2</sup>  
 延床面積 : 延床面積 98.1m<sup>2</sup>





変形六角形の住宅は、敷地境界線ギリギリに建っているため、プライバシーを配慮して、敷地境界に面して開口を設けるのではなく、三角形の角を切り落とした部分に開口を集約させた。このことより、開口面の両側の敷地境界に沿って建つ外壁は、どれも開口に向かって窄まっていくので、パースペクティブの効果を助長し、実際よりも奥行を感じられる。また、敷地の西の角はY字路の分岐点で、道に沿って首都高速道路まで、北東の角は大きな擁壁越しに隣接する小学校の校庭まで、南側の開口部は細い区道に沿って8件先の庭の樹木まで視線が通っていく。さらに、西の角には建蔽率緩和となるよう地下室を設け、その上にはアプローチテラスを設けることで、西側の道路からダイレクトにダイニングスペースへと空間が連続している。

内部空間の奥行き感とその先に広がる奥行きのある都市風景を感じながら内部の螺旋状の空間を上り下りする体験は、この住宅がまるで道路の分岐点に建った都市的スケールを有する階段のような錯覚をもたらしている。こうした住宅の在り方は、都市環境と共に暮らす住宅のプロトタイプの一つになりえるのではないかと考えている。